

# 体験活動参加型+子育てサロン型(幼稚園)

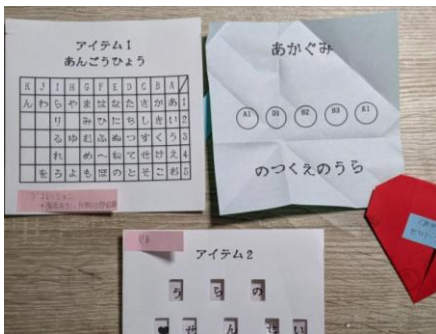
|          |   |
|----------|---|
| 学校名等     | 大垣市立東幼稚園  |
| 実施日時     | 令和2年12月25日(金) 9:00~11:00  |
| 会場       | 幼稚園 園庭・保育室・遊戯室  |
| 参加人数     | 園児(10名)保護者(10名)保育者(3名)  |
| 学習課題(分野) | 親子なぞとき宝さがしとおしゃべりサロン(家族の大切さ・思いやり)  |
| 運営者の願い   | コロナ禍で、さまざまな行動制限がある中、親子で協力してなぞを解き明かして宝ものを見つける達成感を味わい、絆を深めて楽しい経験ができるようにする。また、保護者同士が自由に話す時間をもち、日頃の子育てや、新しい生活様式を踏まえた冬休みの過ごし方を参考にし合っほしい。 |

## 学習の内容

### < 取り組みの流れ >

- ① 役員が中心となって計画をし、全家庭に手紙の配布をする。
- ② みんなでなぞときの問題を考えたり、宝ものを作ったりする。  
**宝さがし当日**
- ③ 役員が保護者に遊び方を説明する。
- ④ 子どもたちには内緒で、保護者全員で園内にヒントを隠す。
- ⑤ PTA 会長扮する海賊の船長から指令書をもらい、なぞときをして宝をさがす。
- ⑥ 活動後の感想や日頃の子育てについて話す。

### 【手作りのなぞときアイテムと宝もの】



### 【当日の宝さがしとおしゃべりサロンの様子】



### < 活動を終えて >

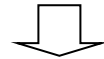
「何するのか?」と、ワクワクしながらなぞときの紙を見つけては、飛び跳ねて喜び子どもたちの生き生きとした姿が見られた。また宝を見つけた後に、友達と宝を見せ合っは笑う子どもたちが、愛おしく思えた。コロナ禍で諦めて過ごすことが多かったが、アイデアを出し合い、準備していくことが楽しくて、保護者自身も「こんな気持ち久しぶり」「やってよかった」と、一つの目標に向けてチームで協力し合う充実感が感じられる得難い経験となった。

このような状況下であるからこそ、人と関わるPTA活動の大切さ、ありがたみを再認識し、諦めてしまうのではなく、できることに目を向けていきたい。



## 役員中心による計画的・積極的な活動

- ◎ どうすると子どものワクワク感を引き出し、楽しく遊べるのか、密にならないためにはどのようにしたらよいのかを念頭に置いて宝さがしの計画を立てることができた。
- ◎ 保護者一人一人のよさや特技を生かした計画や準備ができた。



「なぞときしながら宝をさがすと、見つけた時に楽しいね。」  
 「どこにヒントを隠そうかな?園庭だと密にならないね。」  
 「どんな宝ものしようかな?クリスマスの日だからメッセージカードとお菓子の袋にしよう。デザインを考えるね。」  
 「計画がわかるように保護者配布の手紙を作るね。」

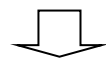


落花生の殻を使ってメッセージカードを作成する保護者



## みんなの協力あつての取組

- ◎ 親も子もそして保育者も協力して遊べるように計画したことで、園全体に協力体制が生まれ、楽しさと達成感を味わうことができた。



- ・ 保護者がなぞときアイテムを隠している間、子どもたちにみつからないように保育者は保育する。
- ・ 保育者自身もなぞときのヒントとなる。
- ・ 全保護者は知らないふりをして子どもと協力して宝をさがす。